

表 1 検証チェックリスト

チェック項目	参照条項	コメント	中間評価	最終評価
1. 契約の締結				
(1) 事業者の検証を受ける体制は整備されているか？				
(2) 以下を含む適切な契約が締結されているか？ ①検証業務の目的 ②二重責任 ③検証の対象範囲 ④検証報告書の結論の表明方法 ⑤契約期間および検証報告書提出期日 ⑥免責事項 ⑦報酬額 ⑧秘密保持				
2. 検証計画－事前検討				
2. 1. 算定報告書				
(1) 算定報告書を入手したか？				

CAR=Corrective Action Request, CL=Clarification

チェック項目	参照条項	コメント	中間評価	最終評価
(2) 算定報告書に以下についての記載はあるか？ ①サイト数 ②排出源数 ③GHG の種類 ④事業活動の区分 ⑤CO2 換算年度当たり総排出量 ⑥新規検証/継続検証の区別				
(3) 検証の対象範囲から、事業者によって省略された排出源はあるか？ 省略された排出源がある場合、事業者から納得のいく説明が得られたか？ また、それを裏付ける証拠は入手できているか？				
(4) 排出源がどのような事業活動から排出されているか、可能な範囲で特定されているか？				
(5) 事業活動の区分から見て排出源に洩れはないか？				
(6) 排出源毎の排出量が特定できているか？				

CAR=Corrective Action Request, CL=Clarification

チェック項目	参照条項	コメント	中間評価	最終評価
(7) GHG の種類毎に排出源が分類され、排出量が特定できているか？				
(8) 使用された排出係数は、算定ガイドライン記載のものが使用されているか？				
(9) 実測に基づく独自の排出係数が使用されている場合、算出根拠の記載、または説明を受けたか？				
(10) 当該年度限りの排出源、あるいは新たに排出源となったものの説明を事業者から受けたか？				

CAR=Corrective Action Request, CL=Clarification

チェック項目	参照条項	コメント	中間評価	最終評価
2. 2. リスクアプローチに基づくレビュー				
(1) (該当する場合)以下についての情報を入手したか？ ①事業者の法的、財政的、地理的バウンダリの変化 ②組織変更(統合、合併、買収、閉鎖、株主の変更、関連会社の増減、内製化、外部委託など) ③算出結果の算出方法の変更 ④新しいプラント/プロセスの操業開始 ⑤GHG 関連情報の質、完全性及び安全性を保証するための事業者により実施された運用上・制御上の手順 ⑥算定結果情報の管理システム ⑦事業者の製品とオペレーションの理解 ⑧事業者の GHG 目標の理解 ⑨期中における体制変化(製品変更、プロセス変更等) ⑩事業者による GHG 排出源と排出量のデータの特定と測定方法についての理解 ⑪特定の GHG 排出源からのデータをどのように取り扱っているかについての理解 ⑫事業者のデータ収集にかかる内部統制及びそれに関連するリスクの評価 ⑬GHG の情報システムに対する理解				

CAR=Corrective Action Request, CL=Clarification

チェック項目	参照条項	コメント	中間評価	最終評価
2. 3. 計画書作成				
(1) リスクアプローチに基づくレビューの結果に基づき、重要性を勘案して検証計画を策定したか？				
(2) 検証計画書に以下の事項を含んでいるか？ ①対象となる範囲(組織的、地理的バウンダリー)と目的 ②対象とする温室効果ガスの種類 ③検証要員(氏名、役割、体制) ④業務の割当て ⑤検証スケジュール ⑥実施すべき手続(必要に応じて検証に必要な資料の詳細) ⑦現地検証サイト ⑧検証の過程において検出された事項の報告方法 ⑨検証報告書提出期日				
(3) 検証計画の見直しを行った場合、変更の理由、及びその内容を事業者と合意し、記録してあるか？				

CAR=Corrective Action Request, CL=Clarification

チェック項目	参照条項	コメント	中間評価	最終評価
3. 検証の実施				
3. 1. 現地調査				
(1) 検証計画に沿って実施されているか？				
(2) 現地調査を行わないサイトについても、文書及び記録により適切な検証を行っているか？				
3. 2. 情報の収集				
(1) 検証前もしくは現地調査において、以下の情報が収集されているか？ ①会社概要や環境保全活動が分かる資料 ②集計期間、範囲と排出量が一覧できる資料 ③サイト別ガス別排出量一覧表 ④各サイトでの算定結果のモニタリング、算定、報告、レビューのフローが分かる資料 ⑤各サイトでの測定機器のメンテナンス、校正の方法が分かる資料 ⑥各サイトでの排出源別ガス別月別排出量一覧表 ⑦各サイトでのガイドラインに従った算定式に基づいて算出したことを明らかにする、一連の計算資料 ⑧計算に使用した活動量、排出係数等の根拠となる資料				

CAR=Corrective Action Request, CL=Clarification

チェック項目	参照条項	コメント	中間評価	最終評価
3. 3. 情報の評価				
3. 3. 1. 内部統制環境の評価				
(1) 構成員を含めた組織体制を検証したか？ また、その組織体制が最新のものであり、トップマネジメントにより承認されたものであることを確認したか？				
(2) トップマネジメントレベルでのGHGの責任の所在が明らかにされているか？ また、排出源及び GHG 排出量に関し、誰が責任を持って説明できるか明らかにされているか？				
(3) GHGで重要な役割を担うスタッフの活動内容についてレビューしたか？ 彼がその任務を果たすのに十分な経験を持ち合わせているか評価したか？ また必要な訓練プログラムのための手順はあるか？				

CAR=Corrective Action Request, CL=Clarification

チェック項目	参照条項	コメント	中間評価	最終評価
(4) 事業者は内部監査部門を持っているか？ 持っている場合、GHGにどのように関わっているか？ その活動を通じて得られる保証レベルはどの程度か？				
(5) GHG 排出量の正確性に関連する業務についての文書化した手順や作業指示書等はあるか？ 必要な要員が、最新版を参照することができるか？				
3. 3. 2. GHG 管理システム(オペレーション)の評価				
(1) 排出源に関わるインプットを取り扱うプラント/プロセスの現地調査を行ったか？				
(2) 各排出源に関し、測定上の不確実性を評価したか？ (例:校正頻度、測定方法の信頼性・不確実性など)				

CAR=Corrective Action Request, CL=Clarification

チェック項目	参照条項	コメント	中間評価	最終評価
(3) 実地調査から、事業者のGHG管理システムで検出されていない非定常な排出のリスクを評価したか？				
3. 3. 3 GHG データシステム(コンピュータ情報システム)の評価				
(1) 計画されたモニタリング方法が正確に適用されているか、またデータの収集プロセスの過程における不確実性の有無について検証したか？				
(2) GHG データの流れについて、その管理レベルを評価したか？				
(3) 採取された各データのリスクレベルを評価したか？ その評価は、データのサンプリングに基づき行われたか？				
(4) コンピュータで処理された排出データの情報管理レベルを評価したか？(トラブルが発生した時のデータ保護・復旧など)				

CAR=Corrective Action Request, CL=Clarification

チェック項目	参照条項	コメント	中間評価	最終評価
3. 4. 事実の確認				
(1) 発見事実から当該サイトの GHG 算定結果を確定することができるか？				
(2) GHG 算定結果に重大な影響を及ぼす、または及ぼす可能性のある問題点について、すべて具体的な対応策がとられ、その効果が明確になっているか？				

CAR=Corrective Action Request, CL=Clarification

表2 是正処置(CAR)、確認(CL)及び観察(OBS)事項

発見事項	関連する表1のチェックリスト項目	事業者からの回答	審査チームの結論

CAR=Corrective Action Request, CL=Clarification